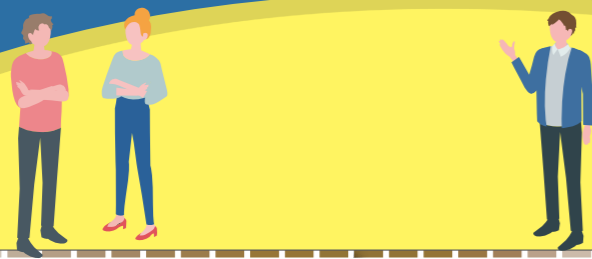


データを共有・利用する時の
注意点を知りたい



「人文学・社会科学における データ共有のための手引き」

とは

海外のガイドライン等を参考に、
データ共有について体系的にまとめた
手引きです。

研究のためデータを収集・分析する方、
共有・利用する方は
ぜひご一読ください。

人文学・社会科学における データ共有のための手引き

—人文学・社会科学データインフラストラクチャーの構築に向けて—

令和3(2021)年11月

独立行政法人日本学術振興会
人文学・社会科学データインフラストラクチャー構築推進事業

URL <https://www.jsps.go.jp/j-di/guide.html>

内容の例

- ▶ データを共有する意義
- ▶ メタデータ
(人文学編・社会科学編)
- ▶ データのフォーマット
- ▶ 個人情報と匿名化について
- ▶ データに関する著作権



人文学・社会科学を研究している方へ

人文学・社会科学総合データカタログ 「JDCat」のご案内

日本学術振興会では、人文学・社会科学分野のデータ共有・利活用を
促進するためWeb上でデータカタログを提供しています。
ぜひ、研究にご活用ください。

人文学・社会科学総合データカタログ 「JDCat」とは

人文学分野と社会科学分野のデータを分野横断
的に一括検索できるデータカタログです。参画機
関が提供するデータのメタデータ(作成者や対象
時期などの情報)を収録しています。

JDCatを利用することで、参画機関の多様な
データにアクセスすることができます。
また、英語検索にも対応しているため、
海外の研究者にもご利用いただけま
す(一部メタデータを除く)。



※画面は2022年2月時点のものです。



JAPAN SOCIETY FOR THE PROMOTION OF SCIENCE
日本学術振興会

独立行政法人日本学術振興会 研究事業部 研究事業課
人文学・社会科学データインフラストラクチャー構築推進事業担当
〒102-0083 東京都千代田区麹町5-3-1 Tel: 03-3263-1106 E-mail: di-hs@jsps.go.jp



ご活用はコチラから

URL <https://jdcats.jsps.go.jp> >>>





多様なデータアーカイブを一括で検索することにより、自身の研究に必要なデータを効率的に探す事ができる！



参画機関に寄託したデータのメタデータがJDCatに掲載されることにより、自身の研究データの利活用が促進される



授業で学生と同じデータを利用して分析方法を教えるなど、教育に活用できる

▼メタデータの詳細画面(例)

データの詳細や配布先のリンクなどを確認できる

| Item type | Harvesting DDI(1) |
|------------|---|
| 公開日 | 2021-06-24 |
| タイトル | Japanese Panel Survey of Consumers: 2017 消費生活に関するパネル調査 (JPSC) 2017 |
| その他のタイトル | JPSC JPSC |
| 作成者 | 家計経済研究所 |
| 配布者 | Panel Data Research Center at Keio University 慶應義塾大学パネルデータ設計・解析センター |
| 編集者 | Panel Data Research Center at Keio University 慶應義塾大学パネルデータ設計・解析センター |
| URI | https://data.lib.keio.ac.jp/records/25 |
| URI | https://data.lib.keio.ac.jp/records/25 |
| データファイルURI | https://www.pdrc.keio.ac.jp/pdrc/ |
| データファイルURI | https://www.pdrc.keio.ac.jp/pdrc/ |
| アクセス権 | restricted access 制約付きアクセス |
| 権利情報 | Before your application, you need to agree with our written pledge (e.g. the data will be only use for research purpose, will not be provided any third party etc). |
| 権利情報 | 詳しくは、データ申請時に表示される誓約書を確認してください。 |
| 概要 | The JPSC started in 1993 with a sample of 1,500 young woman (aged from 24 to 34 years) and their spouses. The objective was to examine the lifestyles of relatively young woman from a wide spectrum of factors, including income, expenditure, savings, work patterns, and family relationships. Since then, the survey has been conducted annually and expanded to include new cohorts in 1997 (500 respondents), 2003 (836 respondents), 2008 (636 respondents), and 2013 (672 respondents). 1993年に当時24歳から34歳の女性1,500名とその配偶者を対象に、若年女性の生活実態を、収入・支出・貯蓄・就業行動、家族関係などの諸側面から明らかにすることを目的としています。1997年(500名)、2003年(836名)、2008年(636名)、2013年(672名)に新規調査対象者が追加され、現在まで調査が続いています。 |
| 更新履歴 | 2016 - 2017, 2016 - 2017 |

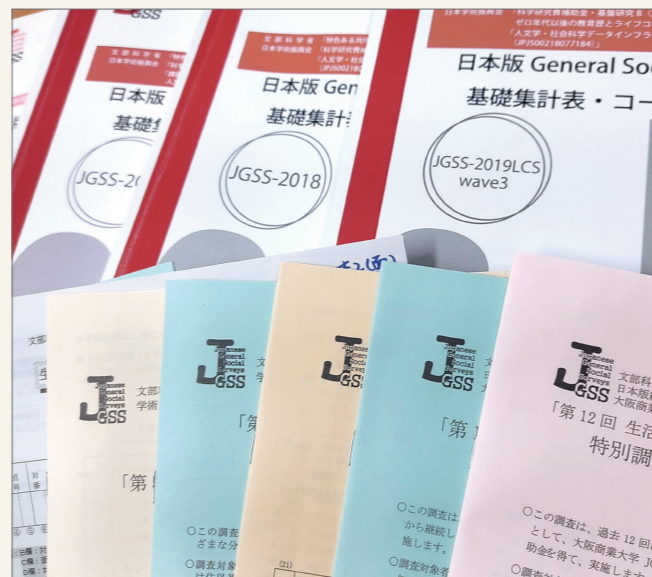


取扱いデータは順次追加される予定です



参画機関が取扱うデータの例

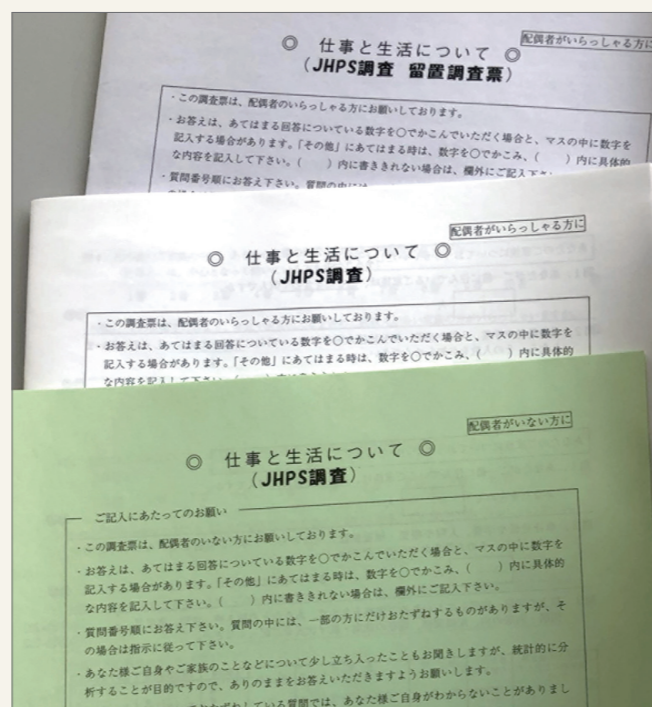
日本版総合的社会調査 (Japanese General Social Surveys : JGSS) などのマイクロデータ (大阪商業大学 JGSS研究センター)



▲日本版総合的社会調査 (Japanese General Social Surveys : JGSS)

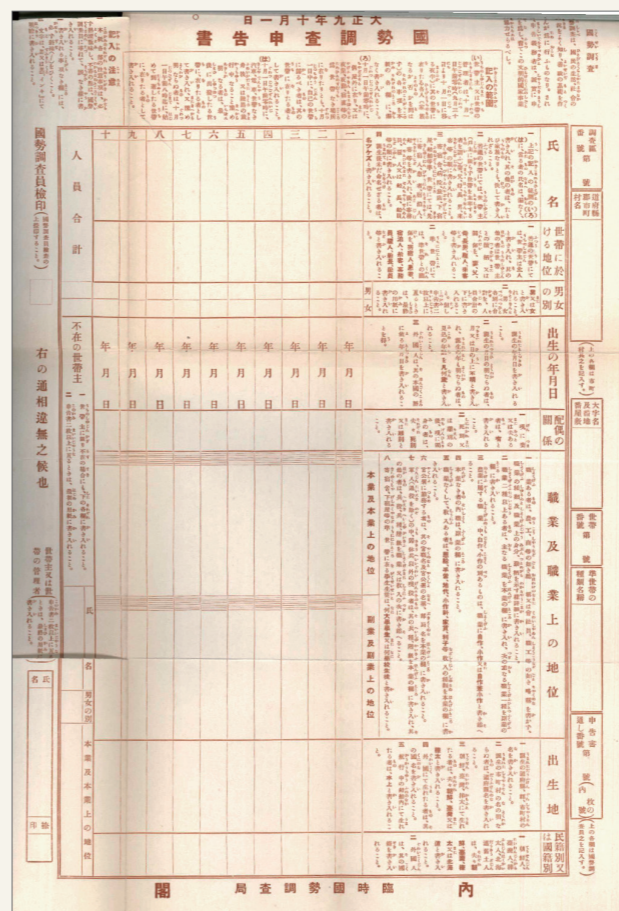


日本家計パネル調査などのパネルデータ (慶應義塾大学 パネルデータ設計・解析センター)



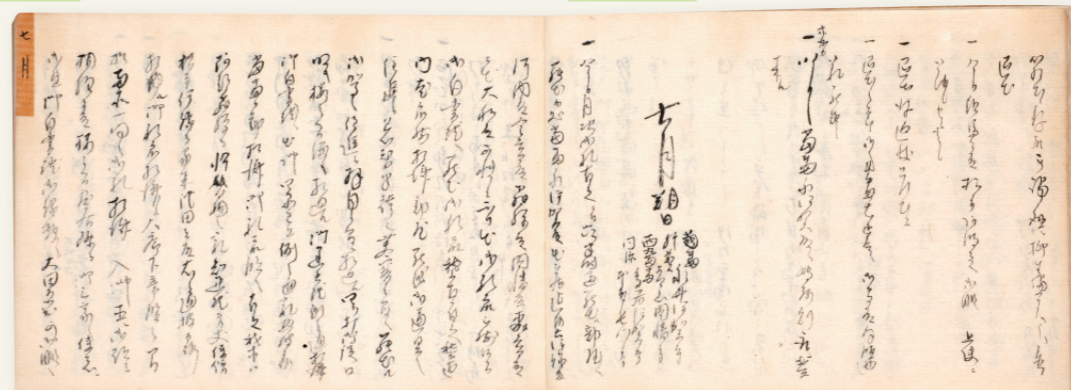
▲日本家計パネル調査

明治初期以降の日本統計年鑑、および公的統計の調査票様式・調査概要 (一橋大学 経済研究所)



▲大正9年国勢調査(大規模)：調査票様式ほか調査概要

備後福山藩阿部家史料などの日本史史料 (東京大学 史料編纂所)



◀備後福山藩阿部家史料

東大社研・若年パネル調査などの社会調査データ (東京大学 社会科学研究所附属社会調査・データアーカイブ研究センター)



▲働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査2007



参画機関リンク

- ◆大阪商業大学 JGSS研究センター
- ◆慶應義塾大学 パネルデータ設計・解析センター
- ◆東京大学 社会科学研究所附属社会調査・データアーカイブ研究センター
- ◆一橋大学 経済研究所
- ◆東京大学 史料編纂所

- <https://jgss.daishodai.ac.jp>
- <https://www.pdrc.keio.ac.jp>
- <https://csrda.iss.u-tokyo.ac.jp>
- <https://www.ier.hit-u.ac.jp/Japanese>
- <https://www.hi.u-tokyo.ac.jp>